

末廣かわら版

発行

清水港船宿記念館「末廣」
公益財団法人 するが企画観光局
〒424-0943 静岡市清水区港町1-2-14
TEL・FAX 054-351-6070 【月曜休館】

4 月といえば桜の花が咲く入学シーズンですね。この時期、小さな体に大きなランドセルを背負って歩く微笑ましい姿を街中でみかけます。今では当たり前になったピンクや水色、色とりどりのランドセルは新年度のスタートにピッタリですね。
末廣もいろいろなイベントや展示を計画しています。皆様のご来館をお待ちしております。

子分 特集③

小政

義侠心と腕っぷし——
小さな居合の達人は、二十八人衆屈指の武闘派

『小政は遠州浜松の生まれ。11歳の時に次郎長の養子となり、長じて気性の激しい喧嘩っ早い男となって、常に次郎長に従いしばしば功をたてた。本名は政五郎だが、小男だったので大政に対して小政と呼ばれた。大政小政は次郎長のいわば両腕というべき子分である。』

「清水次郎長と明治維新（田口英爾著）」より

本名は吉川冬吉、1842年1月に現在の浜松市中央区にて魚屋 吉川由蔵の次男として生まれます。次郎長に初めて会ったのが9歳のときで、11歳で養子に入り、そのときの名が山本政五郎。大政も同じく山本政五郎だったため、区別するために小政と呼ばれました。大政の身長六尺以上（約180cm）に対して小政は成人しても四尺八寸（約145cm）。体が小さいこともあり居合術を磨き、三尺（約90cm）の大太刀を用いました。

16歳のとき、江尻追分の駕籠屋で石松の敵、吉兵衛の弟 常吉を討ち取ってその名をあげ、23歳でお加登と結婚しましたが、傷害事件を起こしたため6年間の逃亡生活を送ることになりました。その後1871年に清水に戻りましたが、荒神山手討式の清水一家集合写真には写っておらず、そのため清水にいた時期は僅かと言われています。1874年に32歳の若さで亡くなり、お墓は清水の梅蔭禅寺と浜松の大聖寺にあり、大聖寺のお墓は小政の7回忌に次郎長が建てたと伝わっています。



SUEHIRO 春のイベント情報

鯉・端午の節句飾り展

開催日時
4月15日(火)～5月31日(土)
10時～18時
会場 清水港船宿記念館「末廣」
入館料 無料 お申込み 不要



和菓子作り（ねりきり2種類を作ります）

開催日時 5月17日(土)
①10時半～12時 ②13時半～15時
会場 清水港船宿記念館「末廣」
募集定員 各先着6名 参加料 1,500円

新茶を味わう

開催日時 5月31日(土)
①10時半～11時半 ②13時半～14時半
会場 清水港船宿記念館「末廣」
募集定員 各先着10名 参加料 700円(新茶と和菓子付き)



和菓子作り



ブレスレット作り

パワーストーン ブレスレット作り (ブレスレットを1つ作ります)

開催日時 6月14日(土)
①13時～14時半 ②14時半～16時
会場 清水港船宿記念館「末廣」
募集定員 各先着10名
参加料 3,500円(缶茶とゆび饅頭付き)



今年も新茶の季節がやってきます



ゆび饅頭付きの新茶セット

末廣では毎年この時期、新茶セット(ゆび饅頭付き)を楽しむことができます。

♪夏も近づく八十八夜♪と歌われますが、八十八夜とは立春から数えて88日目にあたる日のこと。ちょうど新茶の出回る季節です。その年に採れた新茶を飲むと一年間無病息災でいられるとか…。

新茶には、甘味・うまみの成分であるテアニンが二番茶以降の三倍以上もあるそうです。お茶は霜に弱く、また成長するほどテアニンの含有率が減っていきます。なので八十八夜のころが新茶の収穫のピークであることは今も昔も変わらないようです。

高血糖予防、高血圧予防など、またビタミンCも多く含まれることから女性に嬉しい美肌効果もあるとされています。末廣でちょっと一杯、今年の新茶を味わってみませんか？

次郎長ウォーキング！

2月26日に、清水区内の次郎長ゆかりの史跡などを巡る「次郎長ウォーキング」が開催されました。今回は、予約開始とともに申し込みが殺到し、また遠方から遙々来てくださった方もいらして、当日のお天気が心配されたものの、雲ひとつない青空で絶好のウォーキング日となりました。



美濃輪稲荷神社にて

今回は“次郎長翁を知る会”の中田講師を筆頭に、会のメンバー数名に引率していただき旧清水湊からスタート。10か所の史跡などをまわりましたが、地元から参加された方からも「知らなかった場所がたくさんあった」など新たな発見や、多くの参加者から「大変参考になった」「想像以上に楽しく、勉強になった」「また参加したい」などのお声をいただきました。

今回のウォーキングイベントにもぜひたくさんの皆様にご参加いただき、一人でも多くの方に次郎長さんのファンになっていただければと思います。

スタッフのつぶやき

●1月末に講談師 六代目神田伯山氏による「新春連続読み『清水次郎長伝』2025」がありました。地元清水の人は皆、清水次郎長を親しみを込めて「次郎長さん」と呼びます。その次郎長さんが生まれ育った、この清水の地で聴く次郎長伝はとても感慨深いものでした。

●特に千穂楽の「その後の次郎長」では、清水をこよなく愛した晩年の次郎長さんのことが語られました。ここ「末廣」の名前やエピソードにも触れられ、泣いたり笑ったり楽しい時間を過ごすことができ、あらためて「清水次郎長」を誇らしく感じました。この『清水次郎長伝』がこれからも末永く愛され、語り継がれていくことを願ってやみません。



静岡市清水港船宿記念館「末廣」
静岡市清水区港町1-2-14

バスで ● JR清水駅西口3番バス停より乗車→「港橋」下車 徒歩0分(すぐ目の前です！)
お車で ● 港橋駐車場(名取歯科医院様横) 3番・16番(黄色の三角コーンが目印)

インスタフォローキャンペーン

末廣のInstagramをフォローしていただいた方に、もれなく粗品をプレゼント(毎月先着50名様)。QRコードを読み込み、スタッフに画面をお見せください。また、来館者アンケートにお答えいただいた方にも粗品を差し上げております。ぜひ、ご協力ください。

